

2022 帝京大学 宇都宮キャンパス 公開講座

学びのいろいろ ～文学・データサイエンス～

会場 帝京大学 宇都宮キャンパス
1号館2階201教室

時間 各回とも10:00～11:40
(受付開始9:30)

対象者 一般の方どなたでも(各講座50名)

受講料
無料

第1回 2/18(土) 10:00～11:40
申込み期限:2/15(水)

昭和30年代の忍法小説 —柴田錬三郎と 山田風太郎—



リベラルアーツセンター
まきの ゆう
講師 牧野 悠

昭和30年代の〈忍法小説〉ブームを牽引したのが、柴田錬三郎と山田風太郎でした。柴錬の「赤い影法師」「柴錬立川文庫」、風太郎の「くノ一忍法帖」「魔界転生」などの代表作は、荒唐無稽な忍法表現で一世を風靡しましたが、物語において忍者が担った機能に着目すると、両作家に共通する志向を認められます。奔放に読者のイマジネーションを刺激した秘術の文学的意義について、同時代の雑誌メディアを参照しつつ解説します。

第2回 2/25(土) 10:00～11:40
申込み期限:2/22(水)

データサイエンス入門 —データサイエンスの 意義を知ろう—



リベラルアーツセンター
よこやま あきこ
教授 横山 明子

現代の知識基盤社会において、膨大なデータの利活用は、社会の根幹をなすものです。そのため、データサイエンス・AIに関する基礎的な知識は大切な素養です。本講座では、社会生活において用いられる身近なデータを例にして、データサイエンスの重要性について学びます。日常生活の中でどのようなデータが集められ、どう利活用されているのか、さらに、そのデータがどのように新しい価値を生んでいるのかについてわかりやすく解説します。

第3回 3/4(土) 10:00～11:40
申込み期限:3/1(水)

データサイエンスの実践 —教育データの 可視化を例として—



リベラルアーツセンター
もり かずゆき
講師 守 一介

情報通信技術の普及や情報のデジタル化の進展とともに、あらゆる場面でデータサイエンスが必要と言われ、データに基づく意思決定が目指されています。データサイエンスを専門としていなくても、重要な意思決定を行う際には根拠の提示が求められるかもしれません。本講座では、教育場面を想定したデータの可視化に焦点を当てて、さまざまなデータをシンプルなグラフを使って可視化する過程とその意義について解説します。

お申し込み方法 本学ホームページよりお申し込みください。

(お申し込み・詳細は宇都宮キャンパスホームページをご覧ください。)

<http://www.teikyo.jp/utsunomiya/event/index.html>

お問い合わせ

帝京大学宇都宮キャンパス 高大連携・産学連携・地域連携担当プロジェクト

TEL: 028-627-7249 E-mail: koukai.kouza@riko.teikyo-u.ac.jp

アクセス

●お車の場合 宇都宮美術館方面を目指してお越しください。教職員駐車場をご利用ください。

●バスの場合 JR宇都宮駅 関東バス5番のりば「豊郷台・帝京大学・宇都宮美術館」行き…約20分

